



こども教育学だより

鈴鹿大学こども教育学部通信 05号

あけましておめでとうございます

もう1月、初めての学年末試験の時期となりました。各科目で課されている最終レポート執筆のための資料収集や、月末に行われる試験に向けた日夜の総まとめに励む学生さんたちの姿を見かけます。そういえば、センター試験（1月13,14日）も終わり、いよいよ私たちも2期生を迎える準備をし始めています（入学前課題など）。1期生とともに過ごす1年間はあっという間に過ぎていきます。（川又俊則）

本学には教職教育センターがあります。大学・短期大学の教職・免許資格にかかわることを担当しています。後期からは教職教育サポート室を開設しました。サポート室は火・木曜の午前中に開所し、学生の学業等にかかわる相談業務を行っています。今後、教員採用試験対策（基礎学力向上のための指導、面接・論文・模擬授業等の指導）のサポート体制強化も進めていきます。本学部では、すでに基礎ゼミナールⅡにおいて、このサポート室を利用した学びの実践を行っています。今後も活用して、学びを深めていただきたいと思います。（坪井守）



教職教育サポート室での面接練習

授業紹介

保育内容（健康） 榊原尉津子

幼児教育学専攻の学生は、免許や資格を取得するため多くの専門科目を学んでいます。その中の「保育内容—健康」では、子どもが心身ともに健康で、就学前に生活習慣や社会のルールを身に付け成長していくためには、保育者がどのように援助・指導すれば良いかを実践をとおして学んでいます。授業後半は、子どもが観て楽しみながら学べるよう視・聴・触覚教材として人気の高いペープサートを制作・実演しました。内容は、食育指導、手洗いや歯磨き指導、仲間を大切に話す話など子どもに伝えたい話を披露。発表後は実演を振り返り、更に良い作品になるよう意見交換し学びを深めました。



発達心理学 中山 真

養護教諭は、児童生徒のころやからだが劇的に変化したり、揺らぐ場面に遭遇することが多いと思います。目の前の児童生徒の理解を深めるためには、そのときその段階の状態だけでなく、これまで（過去）とこれから（未来）の発達を理解しておくことが役立ちます。この「発達心理学」という科目は、こども教育学部で大切にしたいと考えている、自己や他者の理解の核となる授業の一つです。この授業では、発達に関する様々な問いを投げかけ、各自のこれまでの経験などに基づいて考える時間を設けています。授業で出てくる様々な用語は聞き慣れなくても、発達そのものは自分自身についてのものであり、身近なものなのです。学生のみなさんはこれから、自分で自分の人生を決める機会がますます増えていきます。一つ一つの授業、そしてこの授業も、まずは自分のためのものであると思って取り組んでもらえたらと思います。



12, 1月トピックス

行事報告（以下は11月のものですが・・・）



3回目のピアノ発表会を終えてリラックス

わくわくフェスタ（11/23）

こども教育学部が、「第12回 子育て応援！わくわくフェスタ」に参加しました。平成29年11月23日（木・祝）県立石薬師高等学校にて開催された、三重県、みえ次世代育成応援ネットワーク主催「第12回 子育て応援！わくわくフェスタ」に参加しました。

本学こども教育学部の学生たちは、幼児教育と養護教育の知識と技術を生かして、「スマイルかぞく 身体測定と食育・歯磨き指導で健康をサポート！」をテーマに来場者の身体測定と絵本やパペットを使って歯磨き指導等を行いました。一番人気の血管年齢測定には順番待ちの列ができるほど好評で、本学部のブースへは200名以上の方にお越しいただきました。

この日イベントデビューした学部生たちにとっては、学びの多い、とても充実した一日となりました。（榊原尉津子）



こどもから大人まで来場いただきました



和気あいあい

学生会・会長メッセージ

イメージキャラクター
よるこびちゃん



昨年に行われた平成30年度学生会会長に当選した本学部の北出くんから『こども教育学部通信』用に、所信表明メッセージをいただきました。大学・短大部が統合した学生会のリーダーとして、本学のために活躍して下さることを期待します。（写真は学生食堂で行われた立会演説会の様子。中央が北出くん）

この度、平成30年度学生会会長選挙でみなさんの投票により会長に選任されました1年の北出潤人です。ご支持をどうも有難うございました。まだ1学年という立場や、初めての経験なので至らないところも多々あると思いますが、この期待を裏切らないよう、精一杯努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。今回の経験をこれからの大学生活にいかせればと思います。



あとがき



平成30年1月20日発行

鈴鹿大学こども教育学部通信 05号

学生会会長北出くんに続けとばかりに、次年度オープンキャンパスなどの計画をしている学生広報部SUZUKA9に、本学部の学生も参加しています。その活躍は次号以降でご紹介させていただきます。部活動、小学校や中学校へのボランティアなどを含め、授業ばかりでなく、様々な課外活動を通じて大学生として成長してきている、こども教育学部の学生の姿が、頼もしい今日この頃です。（TK）